

会 議 録 (要約)

様式第2号

会議の名称		令和2年度第1回南アルプス市公共下水道事業審議会		
開催日時		令和2年10月29日(木) 13時30分～15時20分		
開催場所		南アルプス市企業局 2階 第1会議室	公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可
事務局		南アルプス市企業局 下水道課	傍聴者数	1人
公開しなかった理由				
出席者	委員	澤登 義之、塩谷 一郎、志村 裕子、斉藤 諭、三木 充、花輪 幸長、清水 重仁、河野 木綿子、花輪 進、深澤 米男、種田 光浩、伊東 政仁、島津 達正、津久井 豊徳、村松 和明、大堀 ゆき子、久保田 直美 (順不同)		
	事務局	八田企業局長、米山総務課長、中島下水道課長 小野課長補佐、塚原主幹、井上主幹、市川副主幹、野田副主幹		
	その他	金丸市長		
議題		<ul style="list-style-type: none"> (1) 南アルプス市下水道事業全体計画変更について (2) 南アルプス市下水道事業の事後・中間評価について (3) 南アルプス市下水道事業経営戦略の策定について 		
審議等の概要 (主な発言要旨)		別紙のとおり		

令和2年度第1回南アルプス市公共下水道事業審議会 議事録

日時：令和2年10月29日（木）午後1時30分

場所：南アルプス市企業局 2階第1会議室

1. 委嘱状の交付 . . . 市長から代表者1名（澤登 義之委員）に委嘱状を交付
他16名はあらかじめ席にて配布
2. 開 会 . . . 下水道課長の進行により開会
3. 市長あいさつ . . . 下水道の役割、市の下水道現状・課題など
4. 審議会会長選任 . . . 南アルプス市商工会専務理事の塩谷一郎委員が会長に選出
承認され、職務代理として南アルプス市農協代表理事専務
の志村裕子委員が指名承認された。
5. 会長あいさつ . . . 塩谷会長あいさつ 下水道事業の現状と整備促進など
6. 職員紹介 . . . 八田企業局長より職員紹介
7. 議 事
 - (1) 南アルプス市下水道事業全体計画変更について
 - (2) 南アルプス市下水道事業の事後・中間評価について
 - (3) 南アルプス市下水道事業経営戦略の策定について
 - (4) その他

質 疑 応 答

(1) 南アルプス市下水道事業全体計画変更について

①委員

令和17年度まで工事費が年10億円となると、総額150億円という認識で間違いないか。

・事務局

間違いありません。年10億円で約50ヘクタールの整備を進めていく予定です。

②委員

東南湖地区の計画は縮小されるのか。その理由は。

・事務局

縮小することを予定しています。

現計画は、令和17年度までの整備計画となります。それ以後の整備区域は整備が遅れてしまうことから、別の事業である合併浄化槽の補助事業を導入できるよう、縮小を含めた全体計画の見直しを行います。

③委員

全体の下水道事業計画が終わるのはいつ頃を想定しているのか。

・事務局

全体計画図の黒枠部分については、令和17年度までに整備が終了する予定となっています。赤枠部分はそれ以降の整備になってしまうため、全体計画を縮小し、合併浄化槽の補助金等の事業を取り入れ、水質の浄化を進めていきたいと考えています。

ある程度整備が進んでいけば、縮小された区域も再度、計画区域として整備することが可能です。

④委員

集合処理・個別処理の優位性とは何か。

・事務局

汚水を下水道で処理することを集合処理、個人の合併浄化槽で処理することを個別処理と言います。

下水道整備区域になっている地区は、新築時に合併浄化槽の補助事業が受けられません。下水道が長期にわたり整備されない区域については、全体計画を見直すことにより個別処理が可能となります。該当となる方々の優位性を考慮する形となります。

(2) 南アルプス市下水道事業の事後・中間評価について

①委員

滝沢川左岸第1排水区の整備が概ね完了したとのことですが、整備したことにより、

災害時にどのような効果が得られるのか。

滝沢川左岸第7排水区における放流口等の協議に約2年間掛かった理由は、

・事務局

現在の工事区間は、櫛形総合公園と櫛形総合体育館の間の道路となりますが、道路南側の滝沢川が排水の出口になります。流入箇所が、櫛形スポーツ公園通りと県道葦崎南アルプス中央線の交差点となります。この交差点付近が最も浸水する箇所になりますので、この整備により桃園地区及び小笠原地区の一部の浸水対策に繋がるものと考えます。

・事務局

当初は櫛形中学校と櫛形中央保育園の間の道路に放流口を設ける計画でしたが、計画を進める中で、道路が狭小であることから大きな管を敷設することが工法上、非常に難しいと判断されました。このため計画の変更を検討する必要が生じ、新たなルートの選定、及びや河川の協議に時間が要したことによります。

②委員

企業会計へ移行したことにより、予算的に一般会計とどのような違いが出てくるのか。独立採算で運営を行なう企業会計は、予算的にどのようなことが考えられるのか。

・事務局

平成31年度からこれまでの市の特別会計から企業会計へ移行しております。

企業会計の詳しい説明は、経営戦略の中でさせていただきます。

(3) 南アルプス市下水道事業経営戦略の策定について

①委員

(1) 年間の有収水量とは何か。水道メーターにて計測しているのか。

・事務局

下水道使用料の基礎となる水量で、水道メーターにて計測しています。

(2) コミュニティープラントはあとどれくらい残っているのか。

・事務局

令和元年度のデータですが2ヶ所となります。約400人の方がコミュニティープラントを使用しています。

(3) 下水道使用料について、現在水道料金の約8割だと言われているが、150円まで

上がるとどれくらいになるのか。

・事務局

使用料単価については1 m³当り100円以下程度であります。

150円になると約1.7倍上がることとなります。今後、段階的に使用料の改定を検討していくところではありますが、その時点での情勢を踏まえて具体的にどのように改定していくのか、来年度以降の審議会の中でご説明させていただきます。

(4) 水道料金も上がる予定があるようだが、それに加えて下水道使用料も上がるということか。

・事務局

いつ頃使用料の改定を行なうとは現時点では言えませんが、経営戦略の中では下水道使用料の改定を方針として掲げております。

・事務局

水道料金については、水道委員会にて諮問しており、5年に1度のサイクルで見直しをしていくことになっています。料金改定の時期については、水道・下水道が被らないように調整していきたいと考えております。

②委員

(1) 下水道の加入率が低いと思うが、その理由は何か。

・事務局

新築や建替え等で浄化槽を設置したことにより、下水道が接続できるようになったが切替えをしていただけない場合、また、受益者負担金の制度にご納得いただけない場合等が考えられます。

(2) 工事費や受益者負担金が高いという話をよく聞くが、初期費用や料金として納得してもらえるか考えていただきたい。

・事務局

受益者負担金については、都市計画法に基づき釜無川流域公共下水道事業で定めたことによりますのでご理解をお願いしています。都市計画事業でない場合、整備費に対して国からの補助金が得られなくなります。

③委員

(1) 下水道使用料を上げたら、汚水処理原価は下がるのか。

・事務局

都市化している地域であれば布設した下水道管に多くの件数が接続され、有収水量が増え汚水処理単価が下がりますが、本市のように都市化していないところは、接続件数が少ないところから、たとえ整備しても汚水処理単価を簡単に下げることが難しいと思われま

す。汚水処理原価は、汚水を処理するための経費であることから、使用料の改定とは直接関係は無いものと考えます。

(2) さらに汚水処理原価が上がっていく可能性があるのか。同規模の都市と比べて高いのか。どうにかして下げる方法はないのか。

・事務局

過去5年を見ると、200円から220円位で推移しています。今後もこの位で推移していくと思われま

す。同規模都市と比べると現状分析のとおり高いです。下がらない理由については、先ほど説明したとおりであります。

今後整備区域を縮小した時、どのようなか注視していきたいと考えます。

④委員

全国的また同規模の都市に比べて下水道使用料が極端に低い

・事務局

が、合併以降なぜ改定をしてないのか。合併以降の推移はどうなっているのか。下水道整備が目に見えて進捗せず利用者が少なかったこと。また、これまで市の特別会計の事業であり経営について検討することがなかったこと等から、改定する議論に進まなかったことが考えられます。

・事務局

合併当時に「サービスは高く、負担は低く」の目標の中で、市町村毎に違いがあった下水道使用料を低い水準に合わせてスタートしたと思います。

(4) その他

・事務局

経営戦略の本編については改めて送付させていただきます。また、ホームページにて公表させていただきます。

8. その他 なし

9. 閉 会 . . . 志村裕子委員（南アルプス市農協代表理事専務）

審議会終了 午後3時20分 一 以上